

# STEP2

## 口腔評価

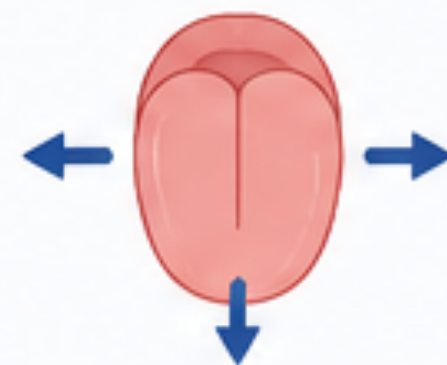
診るポイント

口腔環境は誤嚥リスク・栄養状態に大きく影響

### 1 舌



- ・動きの左右差
- ・挙上・前方突出の可否
- ・筋力低下の有無
- ・舌苔の付着



### 2 唾液



- ・唾液量 (多い/少ない)
- ・性状 (粘稠/サラサラ)
- ・飲み込みの可否
- ・口唇からの流出



### 3 残渣



- ・歯面の付着物
- ・舌背の付着物
- ・頬粘膜の残渣



### 4 義歯



- ・装着の適合性
- ・安定性 (動揺の有無)
- ・清潔状態
- ・装着時間



### 5 口腔乾燥



- ・口唇の乾燥・亀裂
- ・粘膜の乾燥・赤み
- ・唾液の粘稠度
- ・自覚症状の有無



### 6 痰



- ・量 (少ない/多い)
- ・性状 (サラサラ/粘稠)
- ・喀出の可否
- ・吸引の必要性



口腔環境を整える = 誤嚥予防・嚥下機能改善・栄養状態の改善

# STEP3

## 嚥下スクリーニング

4つの方法で総合的に評価する

### RSST

(反復唾液嚥下テスト)



ごっくんを  
30秒間できる  
だけ繰り返す

まず確認

### MWST

(改訂水飲みテスト)



水で確認

### フードテスト

(嚥下食物テスト)



ゼリー



とろみ水



嚥下調整食



ソフト食

食形態の検討

### 食事場面観察

(実際の食事場面での評価)



最終判断

必要に応じてVF・VE評価

各スクリーニングの結果＋全身状態・口腔状態に合わせて

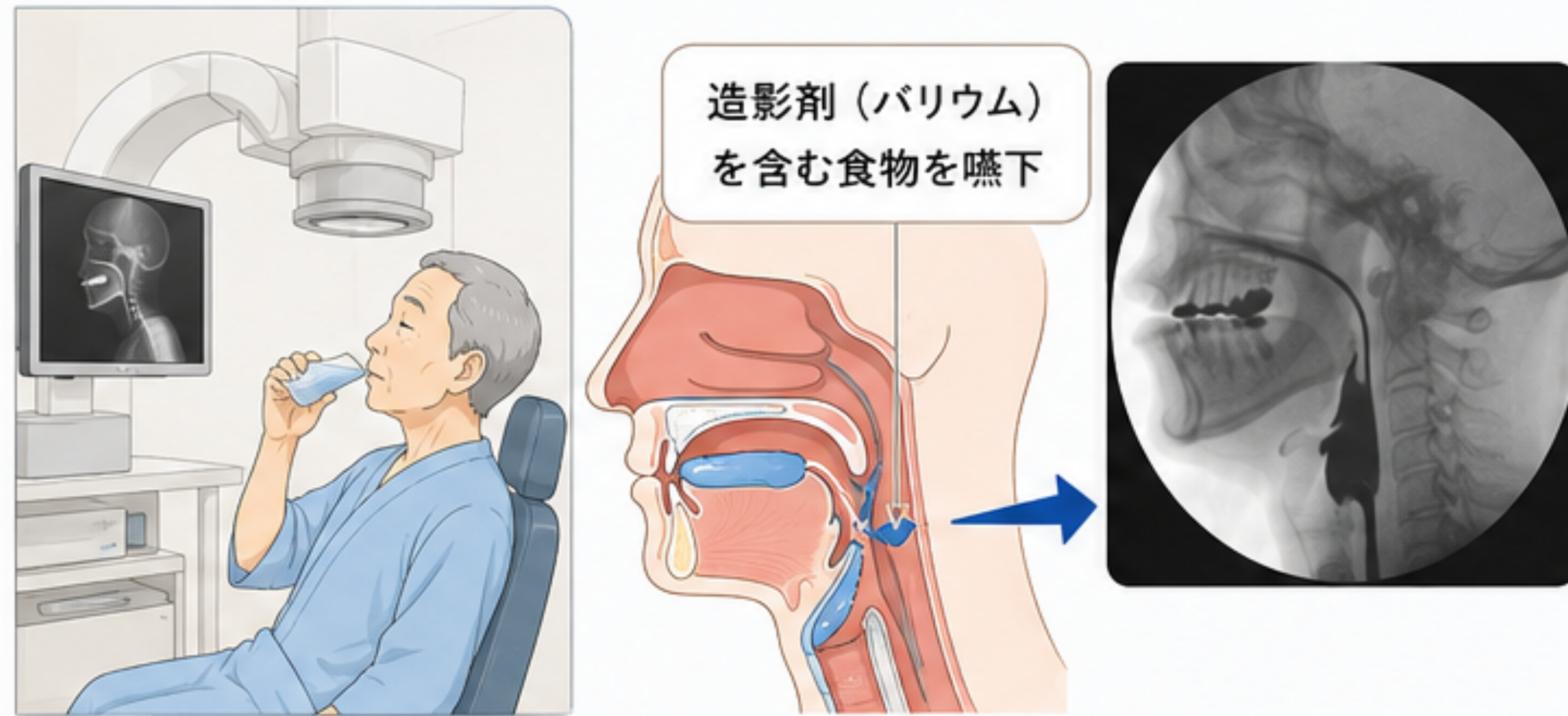
「安全に食べられるか」を総合的に判断

# 嚥下造影検査 (VF) 嚥下内視鏡検査 (VE) の重要性

## 嚥下造影検査 (VF)

Videofluoroscopic Swallowing Study

レントゲン (X線) を使用して、嚥下の動きを評価する検査

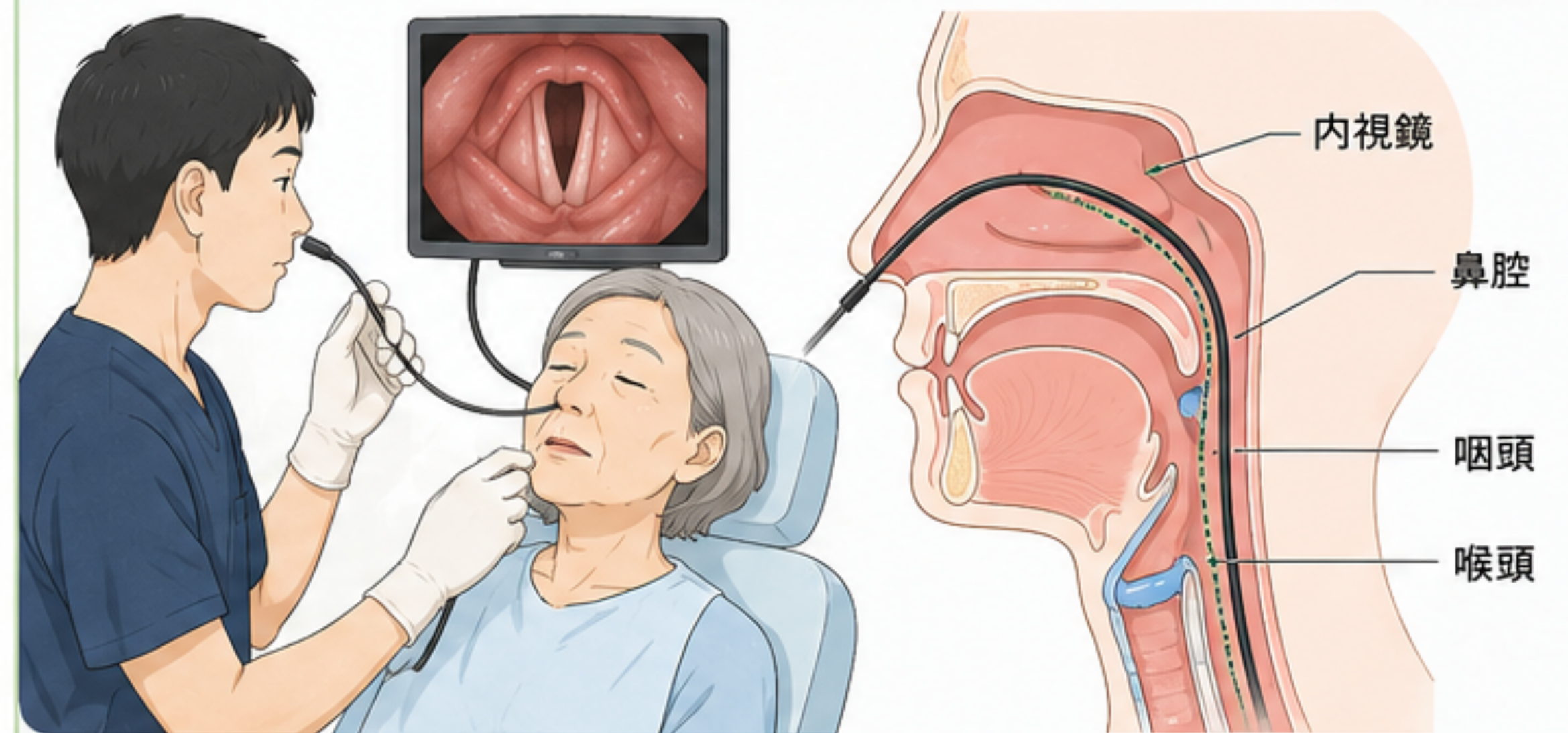


全体の流れを診る

## 嚥下内視鏡検査 (VE)

Videoendoscopic Evaluation of Swallowing

内視鏡を鼻から挿入し、咽頭や喉頭の状態を直接観察する検査



咽頭残留・分泌物

**VF・VEは“誤嚥があるか”を診る検査ではなく、  
“なぜ誤嚥するか”を探す検査**